

■ 今後のエイズ対策に対する皆様のご意見をおうかがいします。

問63. 現在の新聞、テレビ、雑誌などによるエイズに関する報道は十分だと思いますか。(○は1つ)

- |          |               |                |          |            |
|----------|---------------|----------------|----------|------------|
| <b>1</b> | <b>2</b>      | <b>3</b>       | <b>4</b> | <b>5</b> ⑭ |
| 十分である    | どちらかと言えば十分である | どちらかと言えば不十分である | 不十分である   | わからない      |

問64. あなたは、エイズに関してどのような情報が欲しいですか。(○はいくつでも)

- 1 世界全体のエイズの流行状況
- 2 世界の特定の国の流行状況 → それはどのような国ですか。( ) ( )
- 3 日本全体のエイズの流行状況
- 4 自分の住んでいる地域のエイズの流行状況
- 5 最新のエイズ治療について
- 6 エイズ治療にかかる医療費について ⑮
- 7 どこで検査が受けられるか ⑯
- 8 エイズの感染予防方法
- 9 エイズに関する悩みの相談窓口
- 10 特にない
- 11 わからない

■ 最後にこの調査についてのご意見、ご感想をお聞かせください。

以上ですべての調査は終了しました。調査のご協力本当にありがとうございました。 ⑰

## 各種社会グループの HIV/STD 関連知識・性行動・性意識に関する研究

代表研究者：	木原 正博	神奈川県立がんセンター臨床研究所研究第 3 科
研究者	：木原 雅子	カリフォルニア大学サンフランシスコ校エイズ予防研究所
	天野 恵子	国立大学保健管理施設協議会エイズ特別委員会 (東京水産大学保健管理センター)
	木村 博和	横浜市立大学公衆衛生学教室
	富田 庸子	鎌倉女子大学心理学研究室
	市川 誠一	神奈川県立衛生短期大学衛生技術科公衆衛生学研究室
	落合 加津子	神奈川県立衛生短期大学看護科
	山本 太郎	長崎大学熱帯医学研究所環境医学部門国際社会環境分野
	内野 英幸	長野県大町保健所
研究顧問	：S. C. Kippax	National Center in HIV Social Research (Sydney, Australia)
	：Tim Brown	East-West Center Program on Population (Hawaii, USA)

### 研究要旨

**研究の背景および目的：**わが国のように HIV 流行がまだ低レベルにあると考えられる国において、今後の感染拡大を防止するためには、HIV の血清疫学的調査とともに、質の高い行動調査を実施し、感染拡大につながる行動とリスク行動をとるグループを同定し、的確な対策を講じる必要がある。行動科学グループⅠでは、広く一般集団を対象とした行動調査が進められ、日本のスタンダードとなる情報が収集されている。これに対し、本行動科学グループⅡでは、様々な社会グループとして若年者集団(**Project1**)と男性の多い職業集団(**Project2**)を対象に、HIV/STD に関する知識レベル・性意識・リスク行動の程度・セクシャルネットワークの実態調査を実施し、感染リスクの高い集団 (vulnerable population) の同定と、その集団に適した効果的な予防対策に資する情報を得ることを目的とする。

### 方法および結果

(**Project1**) **全国大学生 Sexual Health Study:** 若年者の一部である大学生を対象とした調査で、本年度は、第一段階として、本対象集団に適切な調査票の開発、調査方法の検討、調査票の検討のための予備調査の実施、調査実施のための調査依頼状の配布、調査実施マニュアルの作成、調査地点の確定、調査コーディネーターの選出など本調査の準備を行った。  
①**調査票の開発：**国内の他集団との比較が可能なように標準化し、海外の HIV 行動調査の専門家の助言、予備調査の結果を基に内容を検討した。  
②**調査対象者：**国立大学 1 年生、4 年生、  
③**調査方法：**国立大学保健管理施設協議会エイズ特別委員会の協力を得て、各大学保健管理センターの入学時健康診断、卒業時健康診断など、学年全員が受診すると考えられる検診時に調査を実施する。無記名自記式アンケート調査で検診前に調査票を配布し、検診時に回収する方法。  
④**調査調査参加予定校：**全国 96 国立大学に調査を依頼し 28 校が参加希望。  
⑤**調査の準備：**全国統一された方法で調査が行えるよう調査マニュアルを作成し、実際の調査の実務を担当する調査コーディネーターを選出し、調査の準備を行った。  
1999 年 4 月から調査実施予定である。

(**Project2**) **男性の多い職業集団の行動調査：**男性の多い職業集団を対象とした調査で、本年度は、その中の 1 集団の大まかなリスクグレード把握のための予備調査を実施した。

①調査対象者：関東地方の寮生活を営む男性の多い職業集団の1施設。②調査方法：無記名自記式アンケート調査。調査期間：1998年12月初旬。③結果および考察：集団Mの過去1年間のその場限りの相手のいる人の割合、5人以上の相手のいる人の割合はどちらも一般集団より有意に高く、買春経験率も高い傾向が見られ、集団Mは、STD患者集団と一般集団の中間に位置するリスクレベルの行動をとっている可能性が示唆された。一方、コンドームの使用状況は、STD患者集団と同程度に低いこと、およびその行動様式や性意識を考えあわせると、本集団がSTD罹患に対し、かなりvulnerableな集団であることが推察された。実際、過去1年間のSTD感染率は、一般集団よりも高く(5.1% vs 0.8%)、さらに、今後、ピルが認可された場合、本集団のピル使用希望者は一般集団よりも、著しく多く、(34.7% vs 14.6%;  $\chi^2=12.2, P<0.001$ )また、本集団のコンドームの使用目的の86.3%が避妊であることから、ピルが認可された場合、コンドームの使用状況に影響を与える可能性が懸念された。また、本集団のコンドームの使用状況の他の問題点としては、オーラルセックスにおける使用率の低さであり、口を介したSTD感染の危険性に関する啓蒙教育が急務であると考えられた。

次年度は、両Projectとも本調査を行い、最終的には、同定されたvulnerable populationに対し、定期的なモニタリングを行う行動サーベイランスシステムの構築と的確な予防介入方法の開発を目指す。

### (Project1) 全国大学生 Sexual Health Study

研究者：木原 雅子 カリフォルニア大学サンフランシスコ校エイズ予防研究所  
 S. C. Kippax オーストラリア国立 HIV 社会調査センター  
 天野 恵子 東京水産大学保健管理センター  
 (国立大学保健管理施設協議会エイズ特別委員会：委員長)  
 木村 博和 横浜市立大学公衆衛生学教室  
 富田 庸子 鎌倉女子大学心理学研究室  
 市川 誠一 神奈川県立衛生短期大学衛生技術科公衆衛生学研究室  
 落合 加津子 神奈川県立衛生短期大学看護科  
 木原 正博 神奈川県立がんセンター臨床研究所研究第3科

研究協力者：(国立大学保健管理施設協議会エイズ特別委員会委員)

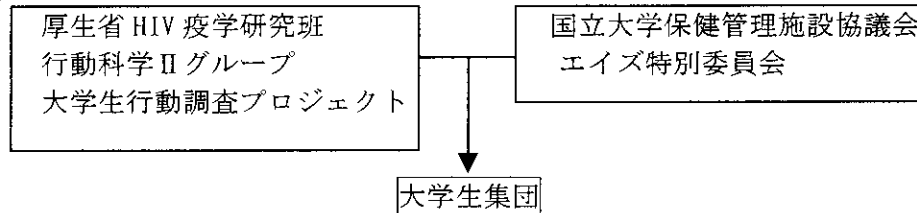
三浦 幸雄 東北大学保健管理センター  
 張谷 秀章 茨城大学保健管理センター  
 吉崎 和彦 大阪大学健康体育部長  
 山本 和彦 九州芸術工科大学保健管理センター  
 石井 伸子 長崎大学保健管理センター

#### 調査の背景・目的

HIVの感染経路には、血液および血液製剤による感染、性感染、母子感染などがあるが、近年、性行為による感染が増加している。これまで、わが国のHIV疫学研究は、血清疫学的研究が中心であり、その感染の基となるリスク行動、その行動の背景となる知識、性意識の実態を調べる全国的、かつsystematicで質の高い調査は極めて少ない。これまで国内で行われた調査から、最近の若者の性行動の活発化が報告され<sup>1</sup>、また、海外では、若者

の性行動のモニタリングとして、大学生の行動調査が定期的に行われている<sup>2</sup>。大学生集団は、性的に活発な若年者集団の一部を構成し、HIV/STD に感染しやすい集団の一つと考えられる。従って、彼らの性行動（リスク行動、セクシュアルネットワーク、コンドームの使用状況など）やその背景となる HIV/STD 関連知識、性意識、検査行動などの実態を把握することが極めて重要であると考えられる。

### 調査体制



### 本年度の進捗状況:

本年度は、調査の初年度として、(1) 調査票、調査方法の開発、(2) 小規模予備調査の実施、(3) 調査票、調査方法の確定、(4) 調査参加機関の募集、(5) 本調査の準備などを行った。

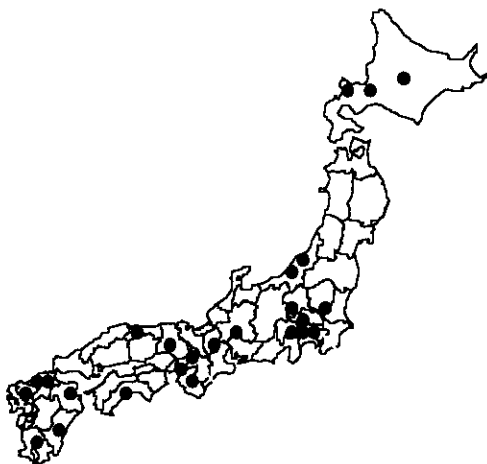
### 調査票の開発:

国内の他集団や、諸外国の大学との比較可能な調査票の作成を目的とした。調査票開発の行程は以下の通りである。1. これまでに開発した各種調査票（一般集団、各種職業集団、STD 患者集団など）との共通項目を設定し、わが国独自の文化、環境および大学生という年齢を考慮した調査票を作成。2. 諸外国の HIV 行動調査の専門家の助言を得て、追加修正。3. 調査票の feasibility の検討のため、2 大学で小規模予備調査を行い、対象学生のコメントを基に修正。4. 国立大学保健管理施設協議会エイズ特別委員会のメンバーとの内容検討。

【調査票について】：調査票の設問総数は 66 問（付問あり）：約 20 分の回答時間要  
実際の調査票 (MKBQ-univ1. version) を、本稿末に資料として添付した。

### 調査対象機関:

全国国立大学保健管理施設（96 国立大学）へ調査を依頼した。全国 96 大学のうち、66 大学から返事があり、平成 11 年 2 月末日時点で参加希望校（25 大学）、検討中（13 大学）、不参加（28 大学）であった。



#### 参加予定大学リスト

北海道大学、旭川医科大学、小樽商科大学、上越教育大学、長岡技術科学大学、宇都宮大学、群馬大学、東京水産大学、東京医科歯科大学、横浜国立大学、山梨医科大学、岐阜大学、和歌山大学、滋賀医科大学、阪外語大学、大阪教育大学、神戸大学、鳥取大学、高知医科大学、九州芸術工科大学、福岡教育大学、大分大学、宮崎大学、佐賀医科大学、鹿屋体育大学

**調査対象者:**大学1年生と大学4年生

**調査時期:**入学時健康診断、卒業時健康診断、医学部の場合はポリクリ前の健康診断など、ほぼ学生全員が受診すると考えられる健康診断時に調査を実施

### 調査方法

**無記名自記式アンケート調査。**

健康診断前に、調査票を配布し、各自記入後、無記名で添付の封筒に密封し、健康診断時に提出する。定期検診を受診しなかった学生及び、提出を忘れた学生は、後日保健管理センターに調査票を持参。回収率の向上を図るため、調査票配布時、定期健康診断時、検診後2週間の3回に渡り、提出のための督促状を配布する。

### 次年度の本調査への準備と対応

上記のように、調査票の開発、調査方法の検討、調査対象大学の募集、調査実施マニュアルの作成、各大学の調査コーディネーターの選出を終わり、本調査の準備が完了した。平成11年4-6月に本調査を実施予定である。

### 将来の展望

若者集団の調査の第1ステップとして、全国の国立大学を対象に調査を開始したが、国立大学生は若者集団の一部を構成しているに過ぎない。次年度は国立大学の調査実施と同時に、次のステップとして、国内においては、全国私立大学、公立大学、専門学校への調査の拡大を目的に、まず、全国私立大学保健管理施設長に対し、Sexual health studyの実施のための委員会の設立を打診中である。さらに、高校生集団に対しては、日本性教育協会が6年ごとに実施している性行動調査の調査項目に、共通設問の追加を依頼している。また、国際的には、共通設問を用いた大学生の国際共同研究の可能性を検討中である。

### 【参考文献・資料】

- 1.青少年の性行動 第4回報告書:(財団法人)日本性教育協会 1994年
- 2.Survey Questionnaire 1998: Knowledge of and attitudes towards HIV/AIDS and related issues; J. Richters, J. Crawford, S. Kippax, National Center in HIV social Research
- 3.Sexual practice and understandings of safe sex: assessing change among 18- to 19-year-old Australian tertiary students, 1998 to 1994; P. Rodden, J. Crawford, S. Kippax, J. French, Australian and New Zealand Journal of public health, 1996, vol.20, No.6, 643-648
- 4.Trends in heterosexual tertiary students' knowledge of HIV and intentions to avoid people who might have HIV, P. Van de Ven, A. Turtle, S. Kippax, J. Crawford and J. French, AIDS CARE, 1996, Vol.8, No.1, 43-53
- 5.Sexuality Education and Young People's Sexual Behavior: A review of studies, A. Grunseit, S. Kippax, P. Anggleton, M. Baldo, and G Slutkin; Journal of Adolescent Research, Vol.12, No.4, 1997, 421-453
- 6.The country verses the city: Differences between rural and urban tertiary students on HIV/AIDS knowledge, beliefs and attitudes. A. Grunseit, D. Lupton, J. Crawford, S. Kippax and J. Noble; Australian Journal of social Issues Vol.30, No.4, 1995, 389-404

## (Project2) 男性の多い職業集団の行動調査

木原 雅子	カリフォルニア大学サンフランシスコ校エイズ予防研究所
木村 博和	横浜市立大学公衆衛生学教室
山本 太郎	長崎大学熱帯医学研究所環境医学部門国際社会環境分野
内野 英幸	長野県大町保健所
木原 正博	神奈川県立がんセンター臨床研究所研究第3科

### 調査の背景・目的

HIV 感染の予防対策では、感染しやすいグループ (vulnerable population) を同定し、その生活・行動パターンに適した対策が講じられる必要がある。これまでの諸外国の調査より、通常の社会基盤あるいは家庭を離れて生活する職業に従事する男性労働者では、リスクの高い行動がとられることが知られており、また、わが国独自の性の二重規範の存在や売買春に対する寛容性から、男性の多い職業集団においては性行動が活発化する可能性が予想される。従って行動科学グループ II (Project2) においては、これら男性の多い職業集団の HIV/STD に関する知識・性意識・性行動・セクシュアルネットワーク・検査行動の実態を調査し、その集団に適した効果的な予防対策に資する情報を得ることを目的とする。

### 本年度の進捗状況

本年度は、男性の多い職業集団のうち、家庭を離れ寮生活を営む男性職業集団を対象に予備調査を実施し、調査票および調査方法の feasibility を検討した。

### 調査票の作成

これまでに作成した他集団（一般集団、大学生集団、STD 患者集団）の調査票と比較可能なように、標準化し、さらに本集団に適した個別質問を加え、調査票 (MKBQ-occup1. version) を作成した。

●調査票の構造：設問数は合計 49 問で、平均所要時間は 15-20 分である。

**調査対象者：**寮生活を営む男性職業集団

### 調査方法：

#### 無記名自記式アンケート調査

\*対象者が全員集まる場所で、全員に調査を依頼。回答者は、その場で記入し、添付の封筒に各自密封し、提出するという方法をとった。

**調査期間：**平成 10 年 12 月初旬

**調査地域：**関東の一施設

**統計的分析方法：**データの集計は、表集計ソフト“秀吉 for Windows”（社会情報サービス、東京）を用いて行い、統計学的検定には、“HALBAU(High quality Analysis libraries for Business and Academic Users) for Windows”（統計数理研究所、東京）によった。2 群間の差の検定には、カイ二乗検定、Fisher の直接確率、Mann-Whitney 検定を用いた

## 予備調査の結果

解析の目的：本集団の概要を掴むために、リスクレベルの異なる他集団と比較した

対象者数：寮生活を営む男性職業集団（集団 M）：103 名（回収率 100%）

集団 M の属性の内訳

性別	男性 99 名 (96.1%)、女性 1 名 (1%)、不明 3 名 (2.9%)
年齢	平均年齢 21.5±4.4 (17-30 歳)
婚姻状況	未婚 94 名 (91.3%)、既婚 4 名 (3.9%)、同棲中 1 名 (1%)、不明 4 名 (3.9%)
学歴	中卒 4 名 (3.9%)、高卒 74 名 (71.8%)、大卒 14 名 (13.6%)、その他 11 名

『比較集団』

一般集団：287 名（2 段階ランダムサンプリング法により収集、回収率 63.3%、71.5%）

男性 139 名、女性 148 名、年齢 18-59 歳、以下の解析には男性のみを使用

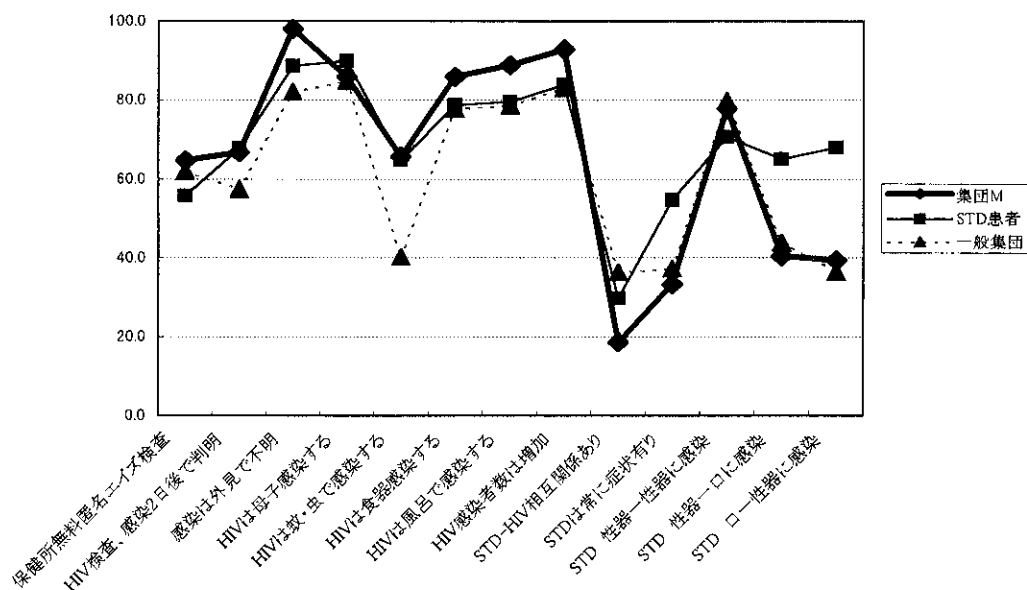
STD 集団：502 名（連続サンプリング法により収集、回収率 91.0%）

男性 437 名、女性 48 名、年齢 16-71 歳、以下の解析には男性のみを使用

## エイズ関連知識

エイズ/STD に関する知識の正解率を 3 集団で比較したものを図 1 に示す。集団 M は、他集団と同様な正解のパターンを示し、全般的には他集団に比べ特に知識が不足しているということではなく、むしろ HIV の感染経路に関しては正解率が高い傾向が見られた。ただ、STD 感染と HIV 感染との相互作用についての質問は、低い正解率であり、また、口を介した STD 感染については、性器間の STD 感染の知識の半分であった。

図 1. エイズ関連知識の正解率



## 過去 1 年間のリスク行動の比較

過去 1 年間の、その場限りの相手のいる人の割合、5 人以上の相手のいる人の割合、買春経験率を比較した。集団 M は、上記の 3 つのリスク行動をとる人の割合が、一般集団と STD 患者群の中間に位置していた。（表 1-3 参照）

表1. 過去1年間にその場限りの相手がいる人の割合

	%	人数	一般集団との比較			
			カイ二乗値	P値	OR	95%信頼区間
集団M	52.4	51/86	17.1	<0.001	5.03	2.13-12.1
STD集団	76.1	321/422	60.7	<0.001	11.0	5.18-23.8
一般集団	22.4	11/49				

表2. 過去1年間に5人以上の相手がいる人の割合

	%	人数	一般集団との比較			
			カイ二乗値	P値	OR	95%信頼区間
集団M	14.7	11/75	4.27	0.039	2.89	0.93-9.32
STD集団	33.8	133/393	30.9	<0.001	8.10	3.32-21.1
一般集団	5.9	6/101				

表3. 過去1年間の買春経験率

	%	人数	一般集団との比較			
			カイ二乗値	P値	OR	95%信頼区間
集団M	23.2	23/99	1.56	0.21	1.57	0.73-3.39
STD集団	51.3	224/437	40.2	<0.001	5.46	3.00-10.0
一般集団	16.2	16/99				

### コンドーム使用率の比較

過去1年間のその場限りの相手とのセックスの時、毎回コンドームを使用した人の割合を膣性交、オーラルセックスに分けて比較した。(表4参照)それによると、集団Mのコンドーム使用状況は、STD患者集団と同様の使用率を示し、膣性交に比べオーラルセックス時のコンドームの使用が著しく低かった。(P<0.001: Fisherの正確確率)

表4. コンドームの毎回使用状況

	膣性交		オーラルセックス	
	%	人数	%	人数
集団M	38.6	17/44	4.4	2/45
STD集団	32.0	89/278	5.0	14/281

### 過去1年間のSTD感染率

集団Mの過去1年間のSTD感染率は5.1% (5/98) で一般集団の感染率0.8% (1/127) より高い傾向が得られた。

### エイズ、STD感染に対するリスク認知

エイズ/STDのリスク認知を比較した(表5-6参照) 性行動同様、集団Mは一般集団とSTD患者集団の中間に位置していた。

表5. エイズのリスク認知

	スコア	一般集団	スコア	集団M	スコア	STD集団	スコア
まったくない	1	23.2%	0.23	17.20%	0.17	5.0%	0.05
非常に低い	2	35.7%	0.71	26.30%	0.53	17.90%	0.36
低・中・高	3	30.40%	0.91	55.70%	1.67	75.2%	2.26
非常に高い	4	10.70%	0.43	1.0%	0.01	1.7%	0.07
すでに感染	5	0%	0.00	0%	0.00	0.2%	0.01
トータルスコア			2.29		2.41		2.74



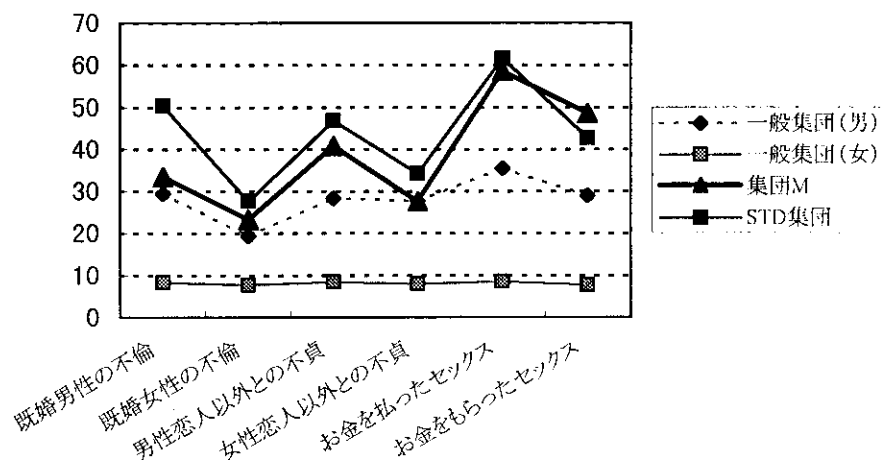
表6. STD感染のリスク認知

	スコア	一般集団	スコア	集団M	スコア
まったくない	1	28.1%	0.28	17.2%	0.17
非常に低い	2	35.1%	0.70	21.2%	0.42
低・中・高	3	28.1%	0.84	60.6%	1.82
非常に高い	4	1.8%	0.07	1.0%	0.04
すでに感染	5	0%	0.00	0%	0.00
トータルスコア			1.90		2.45

### 性モラルについて

性に関するモラルを3集団で比較し、図2に示した。設問項目としては、既婚男性の不倫、既婚女性の不倫、恋人のいる男性が恋人以外と性交渉を持つこと、恋人がいる女性が恋人以外と性交渉を持つこと、買春、売春などで、これらの項目に対し、容認している人の割合を示した。これによると、性モラルの二重規範（同じ性モラル項目に対し、男性はかまわれないが、女性はよくないなど男女差が見られること）に関しては、集団Mは一般集団とSTD患者集団の中間に位置していたが、売買春の容認度はSTD患者集団とほぼ同程度であった。

図2. 性モラルの比較



### 低用量経口避妊薬(ピル)認可後の使用の意志

ピルが解禁された場合、ピルを使用したい（相手に使用してもらいたい）人の割合を、集団Mと一般集団（1999年3月に実施した20歳以上男女2000人の全国調査の結果より）で比較した。集団Mにおけるピル使用希望者は34.7%（34/98）であるのに対し、一般集団の20歳代男性では14.6%（18/123）であり、一般集団に比べ有意に使用を希望する人が多かった。（ $\chi^2=12.2$ 、 $P<0.001$ ）

### 過去1年間のHIV抗体検査受検状況

集団Mで、過去1年間にHIV感染の不安を持った人は15.5%（16/103）であった。不安を持った16人のうち実際にHIV抗体検査を受けた人は3人（18.8%）であった。不安を持っていたのに検査を受けなかった理由は、結果を知るのが怖かった57.1%（8/14）、検査場所を知らなかった42.9%（6/14）、プライバシーが心配だった21.4%（3/14）、検査を受けても意味がないと思った21.4%（3/14）、検査費用が高いから14.3%（2/14）、その他14.3%（2/14）であった。

## 考察

以上の予備調査の結果より、集団 M の過去 1 年間のその場限りの相手のいる人の割合、5 人以上の相手のいる人の割合はどちらも一般集団より有意に高く、買春経験率も高い傾向が見られ、集団 M は、STD 患者集団と一般集団の中間に位置するリスクレベルの行動をとっている可能性が示唆された。一方、コンドームの使用状況は、STD 患者集団と同程度に低いこと、およびその行動様式や性意識を考えあわせると、本集団が STD 罹患に対し、かなり vulnerable な集団であることが推察された。実際、過去 1 年間の STD 感染率は、一般集団よりも高い傾向が見られており、さらに、今後、ピルが認可された場合、本集団のピル使用希望者は一般集団よりも、著しく多く、また、本集団のコンドームの使用目的の 86.3% が避妊であることから、ピルが認可された場合、コンドームの使用状況に影響を与える可能性が懸念される。また、本集団のコンドームの使用状況の他の問題点としては、オーラルセックスにおける使用率の低さであった。オーラルセックスは妊娠の可能性がない性行為のため、コンドームの使用については STD に関する知識が不可欠であると考えられるが、本集団では、STD のロー性器間の感染の知識レベルが、性器—性器間の感染の知識の約半分程度であったことから、オーラルセックスにおける STD 感染の危険性に関する啓蒙教育が急務であると考えられる。

## 今後の研究計画

(1) 今年度は集団 M の 1 施設に対し、予備調査を実施したので、次年度は調査地点を拡大し本調査を実施する。(2) 今回の予備調査で特徴的であった項目(たとえば、ピル使用希望者に関する質問、およびオーラルセックス時のコンドーム使用状況に関する質問など)について、今後のコンドーム使用状況の把握および使用促進を考慮して、さらに詳細な質問項目を追加する。(3) 男性の多い他の職業集団(例: タクシードライバー、建築土木労働者、船員など)への調査の拡大の可能性を検討する(予備調査の実施)。

## 全国国立大学生 Sexual Health Study

このアンケート調査は、国立大学保健管理施設協議会エイズ特別委員会と厚生省の『HIV（エイズウイルス）感染症の疫学研究班』による調査です。

性生活は、私たちの生活の中で大切な部分を占めていますが、近年、わが国でも性行為で感染する病気として、“エイズ”が注目されています。このような状況の中、若年者集団の一部を構成する大学生の皆さんの性生活や性意識を正確に把握することが、的確なエイズ/STD 予防対策を立てる上で、また今後の健康教育を行う上で大変重要となってきています。

あなたご自身のことについて、立ち入ったことを質問いたしますが、この調査は無記名で、調査結果はコンピューターで統計的に処理されますので、個人の回答が公表されることは絶対にありません。大変恐縮ですが、本調査の主旨をご理解の上、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

国立大学保健管理施設協議会エイズ特別委員会  
厚生省・HIV 感染症の疫学研究班：行動科学グループ

- アンケート用紙は添付した封筒に入れて封をし、お名前を書かずに提出して下さい。回収された封筒は密封されたまま、調査票解析センターに送られますので、アンケートの内容が、大学関係者の目に触れたり、個人が同定されたりするようなことは絶対にありません。
- この調査について、ご不審な点やお尋ねになりたいことがございましたら、下記へご連絡下さい。

### お問い合わせ先

国立大学保健管理施設協議会  
エイズ特別委員会：  
東京水産大学保健管理センター  
天野 恵子  
TEL/FAX：03-5463-0387

厚生省 HIV 感染症の疫学研究班  
行動科学グループ：  
神奈川県立がんセンター臨床研究所  
木原 雅子  
TEL：045-391-5761（内：342）  
FAX：045-366-3157

MKBQ-univ.1

■まず、はじめに、あなたご自身のことについておうかがいします。

問1. あなたの性別をお答え下さい。

1  男性                      2  女性

問2. あなたの年齢と学部、学年をお答え下さい。

歳                       学部                       学年

問3. 現在、あなたは家族と一緒に住んでいますか。

1  はい                      2  いいえ

問4. あなたは、結婚をしていますか。

1  はい                      2  いいえ

問5. 過去1ヶ月間に、コンパや飲み会に参加したことがありますか。ある場合、何回でしたか。

1  はい (約  回)                      2  いいえ

問6. あなたには、困った時に相談できる友人がいますか。いる場合、友人の数は何人ですか。

1  はい                      2  いいえ

↓  
男性  人                      女性  人

問7. あなたは何かサークルに所属していますか。

1  はい                      2  いいえ

↓  
付問:どのようなサークルですか。あてはまるに○をつけ、(    )内に具体的に記入して下さい。

- 1  文化系サークル (                      )  
2  体育系サークル (                      )  
3  その他 (                      )

■あなたの育った環境についておうかがいします。

問8. あなたは13-15歳の頃どこに住んでいましたか。

都・道・府・県                       区・市・郡

問9. あなたが13-15歳の頃、兄弟姉妹がいましたか。いた場合、何人でしたか。

- 1  一人っ子である。  
2  兄がいる。→  人  
3  姉がいる。→  人  
4  弟がいる。→  人  
5  妹がいる。→  人

問 10. あなたの育った家庭は、あなたの友人の家庭に比べ、異性との交際に対して厳しかったですか。(○はひとつ)

- 1  大変厳しかった。  
 2  どちらかと言えば厳しかった。  
 3  どちらかと言えば寛大であった。  
 4  寛大であった。  
 5  わからない。

問 11. あなたが 13-15 歳の頃、あなたのご両親の職業は何でしたか。ご両親の職業にあてはまるに○をつけて下さい。(○はお父さん、お母さんそれぞれひとつずつ)

- |       |    | 父親                       | 母親                       |  |
|-------|----|--------------------------|--------------------------|--|
| 自営者   | 1  | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 農林漁業（植木職、造園師を含む）   |
|       | 2  | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 商工サービス業（卸売、小売店、飲食店、理髪店など従業員が 9 人以下の会社、商店、団体の経営者または個人営業主） |
|       | 3  | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | その他の自営業（開業医、弁護士事務所経営者、宗教家、著述業、芸術家、茶華道師匠など）               |
| 家族従業者 | 4  | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 農家や個人商店など、自分の家族が経営する事業を手伝っている者                           |
| 企業経営者 | 5  | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 従業員 10 人以上の会社や団体の経営者（会社社長、団体役員など）                        |
|       | 6  | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 管理職（官庁、会社の課長以上。ただし経営者を除く）                                |
| 勤め人   | 7  | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 専門職（研究者、裁判官、弁護士、病院勤務医師、教員など）                             |
|       | 8  | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 技術職エンジニア（鉱山技術者、科学技術者、看護婦、医療技術者）                          |
|       | 9  | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 事務職（事務系会社員、事務系公務員、事務機械のオペレーター）                           |
|       | 10 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 販売職（小売店、販売店の店員、外交員）                                      |
|       | 11 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 技能、労務職（運転手、通信士、技能士、消防士、土木建築、生産工程従業者）                     |
|       | 12 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | サービス業（保安業務、理容師、調理師、家政婦など）                                |
| その他   | 13 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 専業主婦   |
|       | 14 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 学生   |
|       | 15 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 無職   |
|       | 16 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | わからない  |
|       | 17 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 父親、母親はいなかった  |

■次に、エイズウイルス(HIV)や一般の性感染症(性病)についてお聞きします。

問 12. 下記の情報について、あなたの考えをおうかがいします。

\*ただし、“HIV”とはエイズの原因となるウイルスを意味します。

\*“性感染症”とは、性行為で感染する病気で、ここではエイズ以外の一般の性病を意味します。

\*ここでは、“オーラルセックス”とは男性のペニスを口や舌で刺激する行為に限定します。

	はい ↓	いいえ ↓	わからない ↓
(1) 最近、わが国の HIV 感染者数は増加していると思いますか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(2) 最近、わが国の HIV の感染経路は性行為によるものが最も多い と思いますか。.....	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(3) 最近、エイズの治療薬は進歩したが、まだエイズを完治させる ことはできないと思いますか。.....	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(4) HIV 感染者が使用した食器を共用すると、HIV に感染する可能 性があると思いますか。.....	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(5) HIV 感染者と一緒にプールや風呂に入ると、HIV に感染する可 能性があると思いますか。.....	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(6) HIV 感染者を刺した蚊や虫に刺されると、HIV に感染する可能 性があると思いますか。.....	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(7) HIV 感染者が使用したトイレを使うと、HIV に感染する可能性 があると思いますか。.....	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(8) HIV に感染している妊婦から赤ちゃんに HIV が感染する可能性 があると思いますか。.....	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(9) 口を使ったセックス (オーラルセックス) で、口から性器に性感染症が感染する 可能性があると思いますか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(10) 口を使ったセックス (オーラルセックス) で、性器から口に性感染症が感染する 可能性があると思いますか。.....	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(11) 性感染症にかかっていると、HIV に感染しやすいと思いますか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(12) 健康に見えても、HIV に感染していることがあると思いますか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(13) HIV の性行為感染では、女性より男性が感染しやすいと思いますか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(14) HIV の性行為感染では、男性より女性が感染しやすいと思いますか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(15) 性感染症の原因となる病原体に感染すると、必ず症状が出ると思 いますか。.....	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(16) コンドーム使用は、HIV 感染の予防になるとと思いますか。.....	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(17) コンドーム使用は、性感染症の予防になるとと思いますか。.....	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(18) 通常の HIV 検査では、感染後 2-3 日で感染がわかると思いますか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(19) 保健所では、名前を言わずに無料で HIV 検査ができると思いますか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

---

**問 13. あなたは下記のような状況の時、どのような態度をとると思いますか。**

(1) あなたは、大学で HIV 感染者と同じクラスで勉強することをどう思いますか。

- 1  問題なく受け入れる
- 2  ややためらいがあるが受け入れる
- 3  絶対に受け入れない
- 4  わからない

(2) あなたの友人が HIV に感染したらどうしますか。

- 1  これまで同様付き合い。
- 2  付き合いを減らす。
- 3  付き合いをやめる。
- 4  わからない

(3) あなたの恋人が HIV に感染したらどうしますか。

- 1  これまで同様付き合い。
  - 2  付き合いを減らす。
  - 3  付き合いをやめる。
  - 4  わからない
-

問 14. 現在、あなた自身が、セックス(性交渉)を通して HIV に感染する可能性はどの程度だと思いますか。(〇はひとつ)

- 1  まったくないと思う
- 2  非常に低いと思う
- 3  低いと思う
- 4  中くらいだと思う
- 5  高いと思う
- 6  非常に高いと思う
- 7  わからない

**付問：その理由は何ですか。**  
(〇はいくつでも)

- 1. セックスの経験がないから。
- 2. 危険なセックスはしていないから。
- 3. 決まった人としかセックスしていないから。
- 4. セックスの相手を信用しているから。
- 5. 現在、セックスの相手がないから。
- 6. いつもコンドームを使っているから。
- 7. HIV 感染の可能性のあるような人とはセックスしていないから。
- 8. 日本は HIV 感染者が少ないと思うから。
- 9. その他 ( )

**付問：その理由は何ですか。**  
(〇はいくつでも)

- 1. セックスの経験があるから。
- 2. 危険なセックスをしているから。
- 3. 複数の人とセックスをしているから。
- 4. セックスの相手を信用していないから。
- 5. 現在、セックスの相手がいるから。
- 6. コンドームを使っていないから。
- 7. HIV 感染の可能性のあるような人とセックスをしているから。
- 8. 日本でも HIV 感染者が増えていると思うから。
- 9. その他 ( )

問 15. あなたは、過去 1 年間に HIV に感染しているかどうか不安になったことがありますか。

- 1  はい
- 2  いいえ

**付問：不安になった時、検査を受けましたか。**

- 1  はい
- 2  いいえ

**付問：どこで受けましたか。**  
(〇はいくつでも)

- 1  保健所
- 2  医院・病院
- 3  夜間休日のエイズ検査所
- 4  南新宿検査相談所 (東京)
- 5  海外の検査所
- 6  その他 (具体的に： )

**付問：なぜ受けなかったのですか。**  
(〇はいくつでも)

- 1  どこで検査ができるか知らなかった。
- 2  検査のプライバシーが守られるか心配だった。
- 3  検査費用が高かった。
- 4  検査をしても意味がないと思った。
- 5  結果を知るのが恐かった。
- 6  その他 ( )



問 16. 現在、あなた自身が、HIV 以外の一般の性感染症に感染する可能性はどの程度だと思いますか。(○は1つ)

- 1  まったくないと思う
- 2  非常に低いと思う
- 3  低いと思う
- 4  中くらいだと思う
- 5  高いと思う
- 6  非常に高いと思う
- 7  わからない

付問：その理由は何ですか。  
(○はいくつでも)

1. セックスの経験がないから。
2. 危険なセックスはしていないから。
3. 決まった人としかセックスしていないから。
4. セックスの相手を信用しているから。
5. 現在、セックスの相手がいないから。
6. いつもコンドームを使っているから。
7. 性感染症の可能性のあるような人とはセックスしていないから。
8. 日本では性感染症が少ないと思うから。
9. その他 ( )

付問：その理由は何ですか。  
(○はいくつでも)

1. セックスの経験があるから。
2. 危険なセックスをしているから。
3. 複数の人とセックスをしているから。
4. セックスの相手を信用していないから。
5. 現在、セックスの相手がいるから。
6. コンドームを使っていないから。
7. 性感染症の可能性のあるような人とセックスをしているから。
8. 日本でも性感染症が増えていると思うから。
9. その他 ( )

問 17. あなたは、過去 1 年間に性感染症にかかったことがありますか。ある場合、何回でしたか。また、病名は何でしたか。

- 1  はい ( ) 回 病名 ( )
- 2  いいえ

**■これから、あなたの性生活についておうかがいします。**


ただし、この調査ではセックスとは、膣性交、オーラルセックス、肛門性交の3つの性行為を意味し、“オーラルセックス”は下記の行為(フェラチオ)に限定します。

【膣性交】 男性のペニスを女性の膣に挿入する性行為

【オーラルセックス】 男性のペニスを口や舌で刺激する性行為に限定

【肛門性交】 男性のペニスを女性あるいは男性の肛門に挿入する性行為

問 18. あなたは、これまでにセックスの経験がありますか。

- 1  ある
  - 2  ない
- 17ページの  に進む



---

問 26. はじめてのセックスの相手を楽しんでいましたか。

- 1  はい  
2  いいえ  
3  わからない

---

問 27. はじめてのセックスの時、どのような性行為を行いましたか。あてはまる  に○をつけて下さい。

- |             | した                       | しない                      |
|-------------|--------------------------|--------------------------|
| 1. 膣性交      | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 2. オーラルセックス | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 3. 肛門性交     | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

---

問 28. はじめてのセックスの時、コンドームを使いましたか。

- 1  はい  
2  いいえ  
3  覚えていない

---

問 29. はじめてのセックスは、あなたが望んだのですか。(○はひとつ)

- 1  自ら望んでいた。  
2  望んでいたわけではないが、自然の成り行きであった。  
3  望んではいなかったが、結局同意した。  
4  望んではいなかったが、相手に言えなかった。  
5  意志に反して、強要された。

---


問 30. はじめてのセックスの相手とはその後も性関係が続いていますか。(○はひとつ)

- 1  現在も性関係が続いている。  
2  現在は性関係はないが、会うことはある。  
3  現在はまったく関係がない。
-

■“決まった相手”との性生活についてお聞きます。

◎この場合、“決まった相手”とは、定期的にセックスをしている相手を意味し、配偶者、婚約者、恋人、友人などが含まれます。

問 31. 過去 1 年間に、“決まった相手”がいましたか。

1  いた                      2  いなかった → 12 ページ  に進む

付問：過去 1 年間の“決まった相手”は何人でしたか。

1  1 人                                      2  2 人以上

付問：どのような人でしたか。

(○はひとつ)

- 1  配偶者 (夫、妻)  
 2  婚約者  
 3  恋人  
 4  友人  
 5  その他 (                      )

付問：どのような人で、何人でしたか。(○はいくつでも)

- 1  配偶者 (夫、妻)  
 2  婚約者                                      (                      ) 人  
 3  恋人    (                      ) 人  
 4  友人    (                      ) 人  
 5  その他 (                                      ) (                      ) 人

付問：それらの“決まった相手”の中で、過去 1 年間に最もセックスの回数の多かった人を 1 人選んで下さい。(○は 1 つ)

- 1  配偶者 (夫、妻)  
 2  婚約者  
 3  恋人  
 4  友人  
 5  その他 (                                      )

↓ (以下の問いには選んだ 1 人についてお答え下さい。)

問 32. その“決まった相手”の性別は。

- 1  男性  
 2  女性

問 33. その“決まった相手”の年齢は何歳でしたか。

歳                                       わからない

問 34. その“決まった相手”との避妊方法はどれですか。よく用いる方法に○をつけて下さい。

(○は 2 つまで)

- 1  コンドーム  
 2  膣外射精  
 3  安全期間 (オギノ式)  
 4  経口避妊薬 (ピル)  
 5  殺精子剤 (避妊フィルムなど)  
 6  射精を伴わない性交渉  
 7  避妊していない  
 8  避妊方法を知らない  
 9  その他 (                                      )